



管内金融経済概況

【総論】

京都府・滋賀県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

個人消費は、感染症の影響から、持ち直しの動きが一服している。観光は、感染症による公衆衛生上の措置の延長等の影響もあって、足踏み状態にある。設備投資は、持ち直している。住宅投資は、堅調となっている。公共投資は、高水準で推移している。こうした中、生産は、供給制約の影響を受けつつも、基調としては緩やかに増加している。また、雇用・所得環境をみると、労働需給は弱い状態が続いているが、幾分改善している。雇用者所得は弱い状態が続いている。

今後については、緩和的な金融環境や政府等の各種経済対策の効果もあって、徐々に改善していくとみられる。こうした中、感染症の帰趨、供給制約の動向、政府等が打ち出している各種経済対策の効果、地政学的リスクが高まる下での海外経済の動向、それらが管内経済に与える影響等に注視していく必要がある。

【前回からの変化】

総括判断	個人消費	観光	設備投資	住宅投資	公共投資	生産	雇用・所得
➡	➡	↘	➡	➡	➡	➡	➡

- 前回から改善度合いが強まっている、または悪化度合いが弱まっている。
- ➡ 前回から変化なし。
- 前回から改善度合いが弱まっている、または悪化度合いが強まっている。

1. 需要項目別動向

個人消費は、感染症の影響から、持ち直しの動きが一服している。

主な業態別にみると、百貨店販売額は、感染症の影響から、持ち直しの動きが一服している。スーパー販売額は、堅調に推移している。コンビニエンスストア販売額は、堅調に推移している。ドラッグストア販売額は、増加している。家電販売額は、在宅関連需要の一巡等から緩やかに減少している。乗用車販売は、供給制約の影響等から、弱めの動きとなっている。

- 主要小売業販売額（1月）は、前年を上回った（前年比：+5.4%）。
- 京都地区の百貨店販売額（1月）は、前年を上回った（前年比：+17.9%）。
- スーパー販売額（1月）は、前年並みとなった（前年比：▲0.0%）。
- 家電販売額（1月）は、前年を下回った（前年比：▲0.5%）。
- 乗用車の新車登録台数（1月）は、前年を下回った（前年比：▲17.4%）。

観光は、感染症による公衆衛生上の措置の延長等の影響もあって、足踏み状態にある。

主要宿泊施設の宿泊客数および主要観光施設等への入込客数は、足踏み状態にある。

- 京都市内の主要ホテルの宿泊客数（1月、延べ人数）は、前年を上回った（前年比：+183.1%）。また、客室稼働率は、前年を上回った（32.9%<前年同月：13.3%>）。

設備投資は、持ち直している。

2021年度の設備投資は、前年度を上回る計画となっている。製造業では、主に電気機械において能増投資を計画する先が増えている。また、グローバルな競争力強化のための新製品・新技術向けの研究開発、生産性向上に向けたデジタル関連投資、環境関連投資なども計画されている。非製造業では、

サービス関連を中心に、業績悪化や先行きの不透明感等から、投資を抑制する動きが残るものの、コロナ禍で先送りしていた更新投資を再開する動きや、業務効率化に向けたソフトウェア投資、物流施設の新設等を計画する先がみられている。

- 管内企業短期経済観測調査結果（2021年12月調査）のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）をみると、2021年度は前年度を上回る計画（前年度比：+11.4%）。

住宅投資は、堅調となっている。

- 京都府の新設住宅着工戸数（1月）は、前年を上回った（前年比：+12.6%）。
- 滋賀県の新設住宅着工戸数（1月）は、前年を下回った（前年比：▲6.7%）。

公共投資は、高水準で推移している。

公共施設の建築工事や高速道路建設工事などがみられている。2021年度12月補正後予算（投資的経費）では、京都府・京都市で前年度を下回った一方、滋賀県では上回った。

- 京都府内の公共工事請負金額（2月）は、京都府の減少を中心に、前年を下回った（前年比：▲22.5%）。
- 滋賀県内の公共工事請負金額（2月）は、滋賀県の増加を中心に、前年を上回った（前年比：+17.1%）。

2. 生産

生産は、供給制約の影響を受けつつも、基調としては緩やかに増加している。

主な業種別にみると、電子部品・デバイスは、スマートフォン向けが高水準で推移する中、自動車向けやパソコン関連向けを中心に増加している。汎用・

生産用・業務用機械は、緩やかに増加している。輸送用機械は、持ち直しの兆しがみられる。窯業・土石や化学は、横ばい圏内の動きとなっている。和装関連は、低水準の生産が続いている。

—— 京都府の鉱工業生産指数（12月）は、前月を上回った（季節調整済前月比：+2.8%）。

—— 滋賀県の鉱工業生産指数（12月）は、前月を下回った（季節調整済前月比：▲0.2%）。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は弱い状態が続いているが、幾分改善している。雇用者所得は弱い状態が続いている。

有効求職者数が引き続き高い水準にあるものの、製造業など一部業種で有効求人数が増えていることから、有効求人倍率は緩やかな上昇傾向にある。

—— 京都府の有効求人倍率（1月）は、前月を上回った（1.12倍<12月：1.10倍>）。

—— 滋賀県の有効求人倍率（1月）は、前月と同水準となった（0.98倍<12月：0.98倍>）。

—— 京都府の雇用保険被保険者数（1月）は、前年を下回った（前年比：▲0.1%）。

—— 滋賀県の雇用保険被保険者数（1月）は、前年を上回った（前年比：+0.4%）。

4. 物価

物価は、前年を上回っている。

—— 京都市（1月）の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、光熱・水道や教養娯楽等が上昇したことから、前年を上回った（前年比：+0.2%）。

—— 大津市（1月）の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、光熱・水道や食料（生鮮食品を除く）等が上昇したことから、前年を上回った（前年比：+0.1%）。

5. 倒産

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

- 倒産件数（2月）は、前年を下回った（18件<前年同月：19件>）。
- 負債総額（2月）は、前年を上回った（126億円<前年同月：15億円>）。

6. 金融

貸出（1月）は、個人向けを中心に前年を上回った（前年比：+1.1%）。

実質預金（1月）は、法人、個人を中心に前年を上回った（前年比：+4.1%）。

貸出約定平均金利（1月、総合、ストックベース）は、前月を下回った（0.860%<12月：0.865%>）。

以 上



（円香）

【問い合わせ先】

日本銀行京都支店営業課 いばらき 茨木

Tel：075-212-5151（代）

E-Mail：kyouto@boj.or.jp



（一之助）

日本銀行京都支店 広報キャラクターの「円香」と「一之助」です。

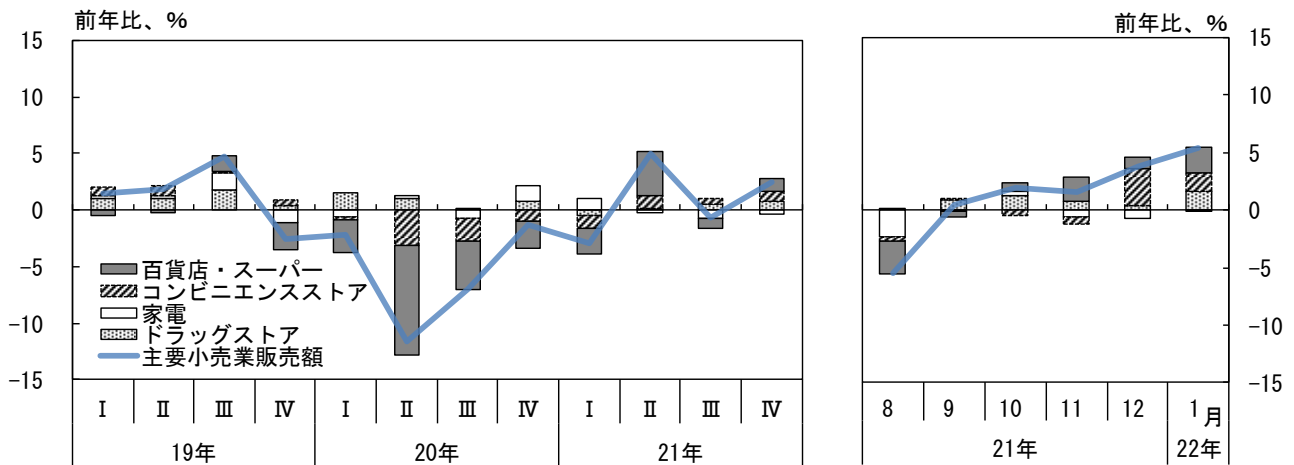
本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合（引用は含まれません）は、予め当店までご相談ください。引用・転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

管内金融経済概況・図表編

1. 需要項目別動向

(1) 個人消費

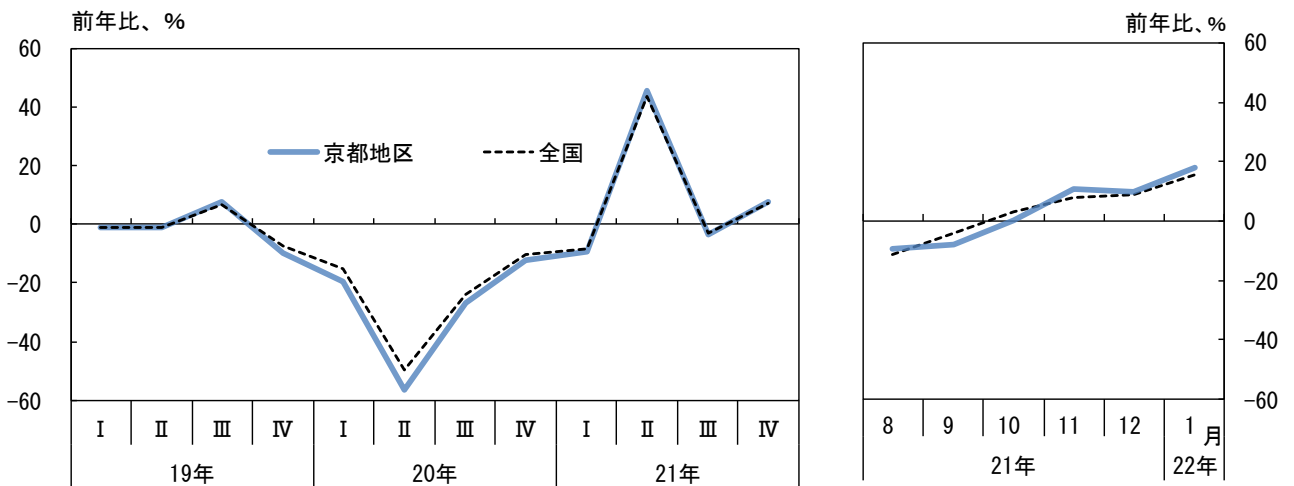
①主要小売業販売額（京滋計）



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

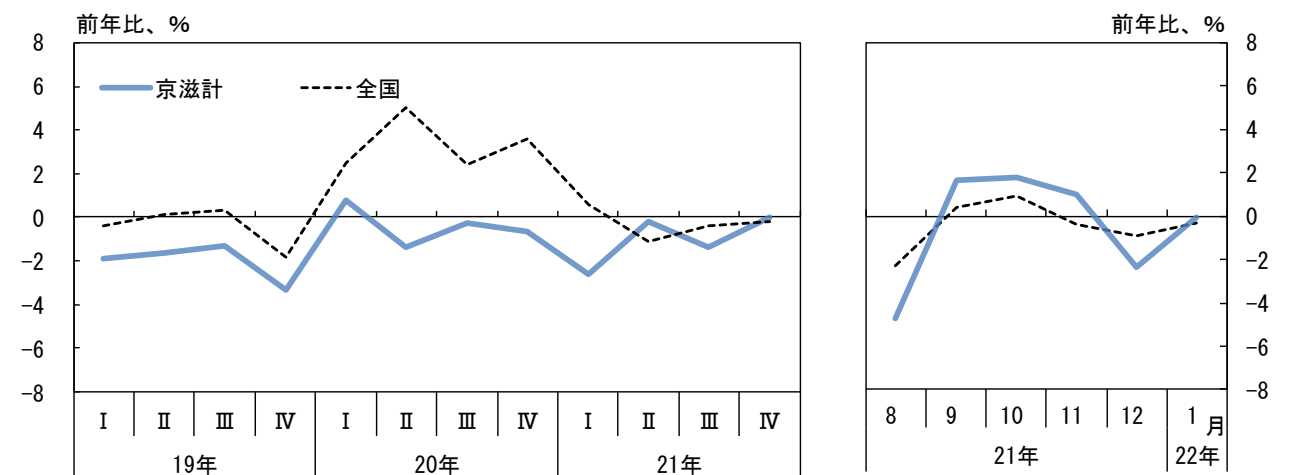
(注) 百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電販売額、ドラッグストア販売額を当店で合算。全店ベース。内訳は寄与度を示す。

②百貨店販売額



(出所) 日本百貨店協会、経済産業省「商業動態統計」

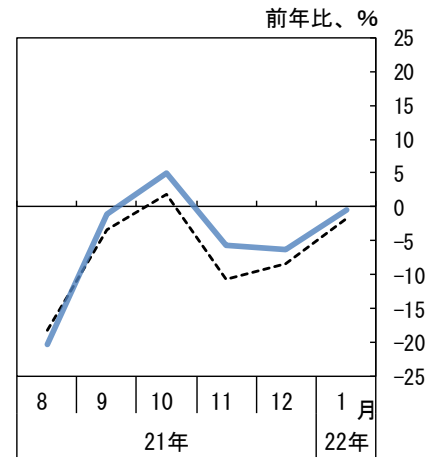
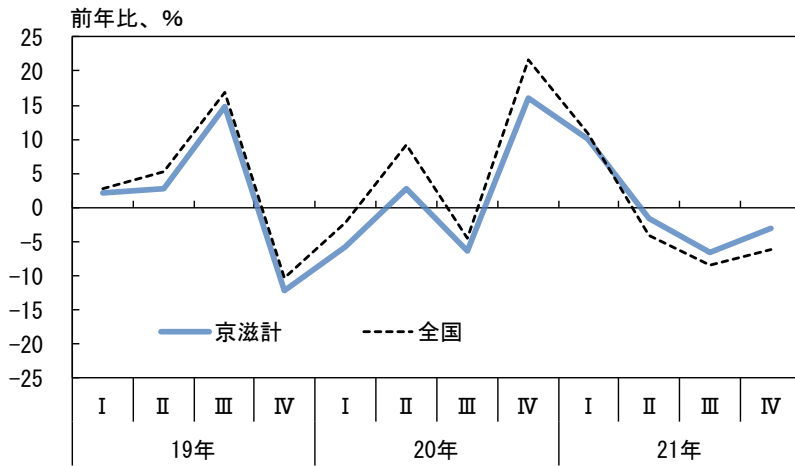
③スーパー販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

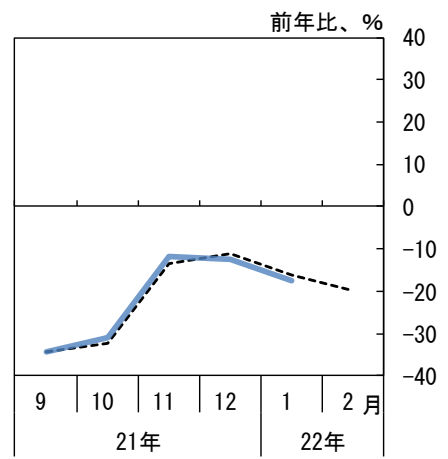
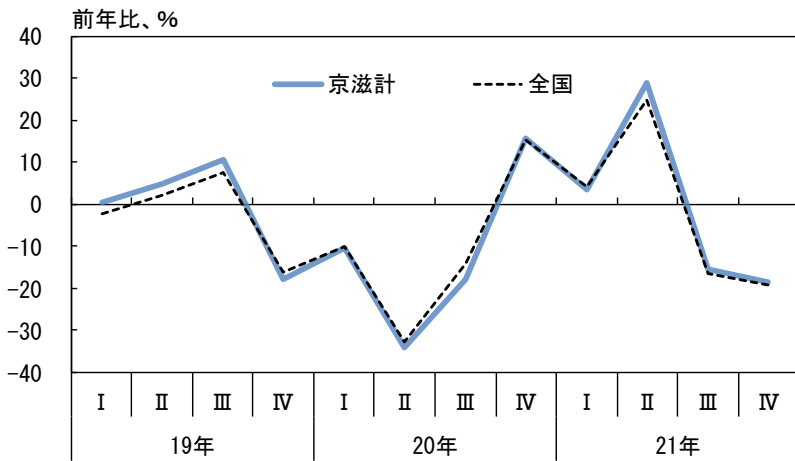
(注) 全店ベース。滋賀県は百貨店を含む。

④家電販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」
(注) 全店ベース。

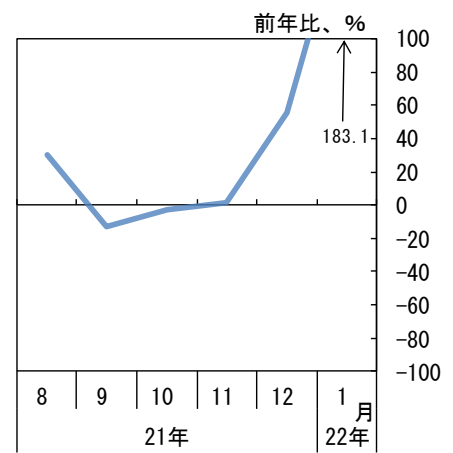
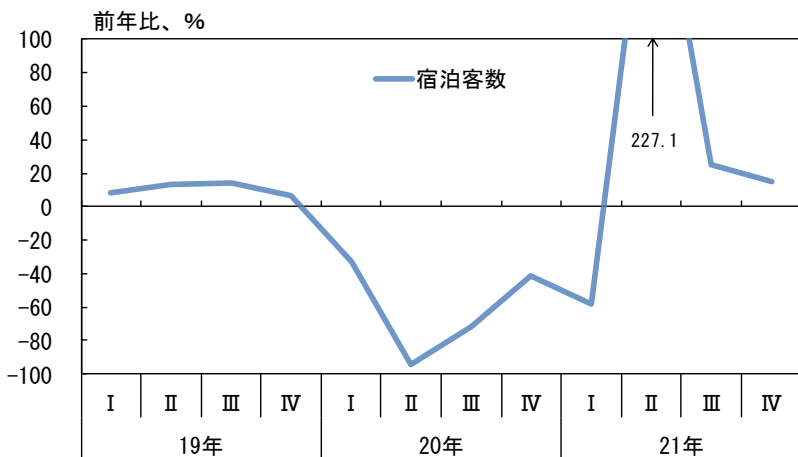
⑤乗用車新車登録台数 (含む軽乗用車)



(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

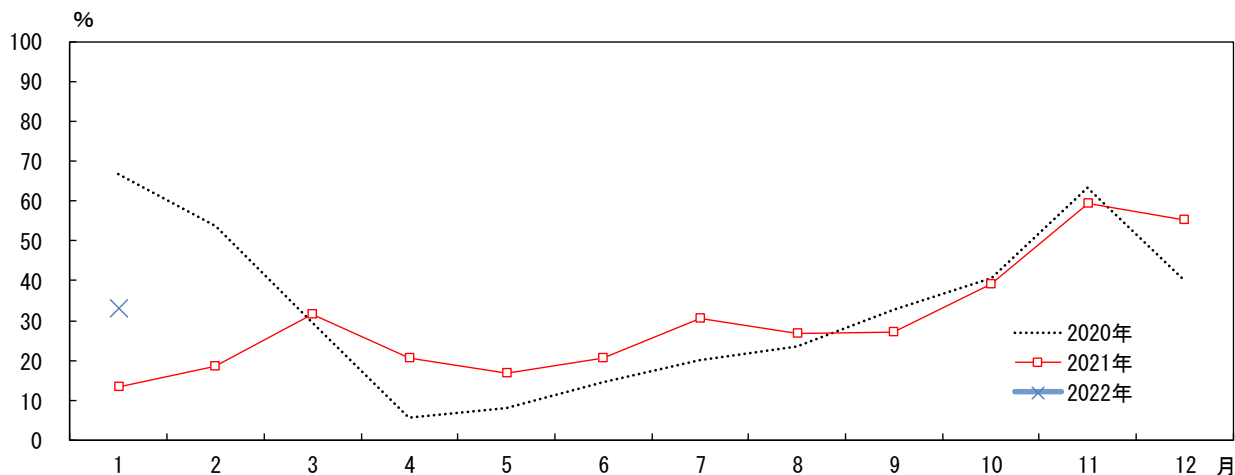
(2) 観光

①京都市内の主要ホテルの宿泊客数 (延べ人数)



(出所) 京都市観光協会「京都市観光協会データ月報」
(注) 対象ホテル数は、月毎に変動する場合がある。

②京都市内の主要ホテルの客室稼働率



(出所) 京都市観光協会「京都市観光協会データ月報」

(注) 対象ホテル数は、月毎に変動する場合があります。

本年と前年は同一ホテルベース。2年前のデータは対象ホテル数が異なる場合があります。

(3) 設備投資

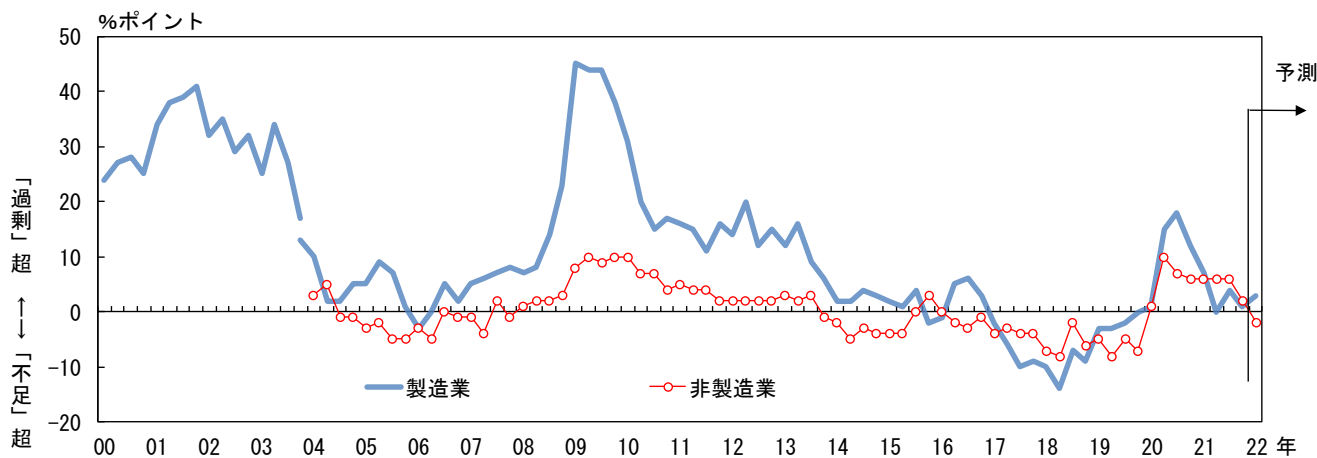
①ソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）（京滋計）

	前年度比、%	
	2020年度 実績	2021年度 計画 (修正率)
全産業	-4.3	11.4 (-0.2)
製造業	-2.6	11.7 (-0.2)
非製造業	-26.2	4.8 (-0.2)

(出所) 日本銀行京都支店「管内企業短期経済観測調査結果」

(注) 2021年12月調査。()内は、前回2021年9月調査からの修正率。

②生産・営業用設備判断D.I.（京滋計）

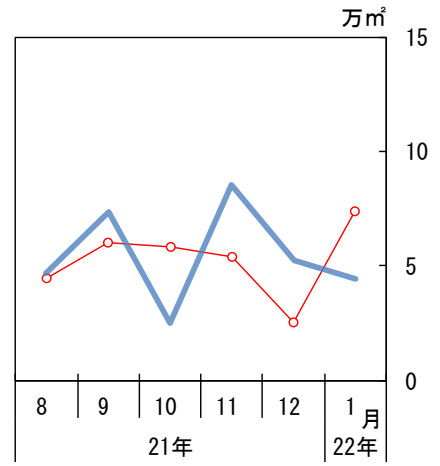
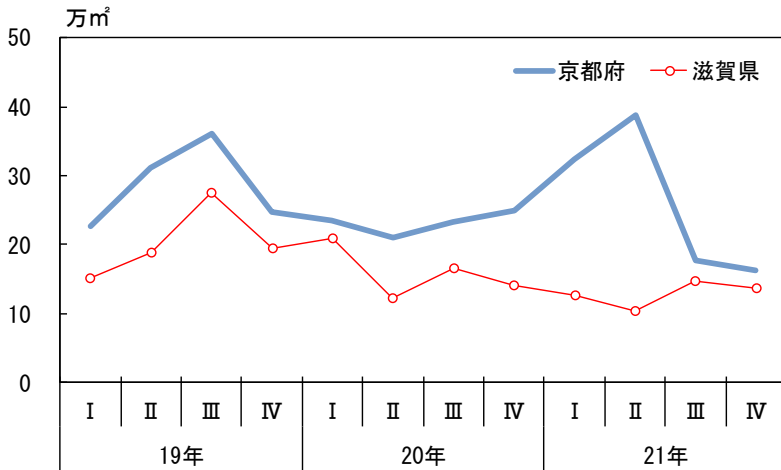


(出所) 日本銀行京都支店「管内企業短期経済観測調査結果」

(注) 直近は2021年12月。予測は2022年3月。

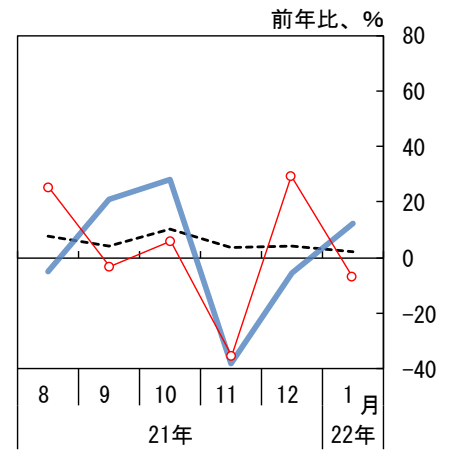
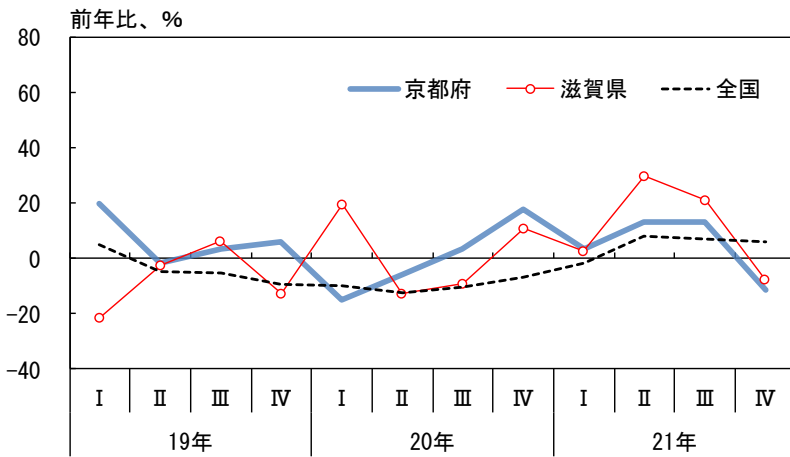
2004年3月調査より調査対象企業等の見直しを行なったことから、2003年12月調査以前と2004年3月調査以降の計数は連続しない(2003年12月調査については、新ベースによる再集計結果を併記)。非製造業は2004年3月調査より公表開始。

③着工建築物床面積（非居住用）



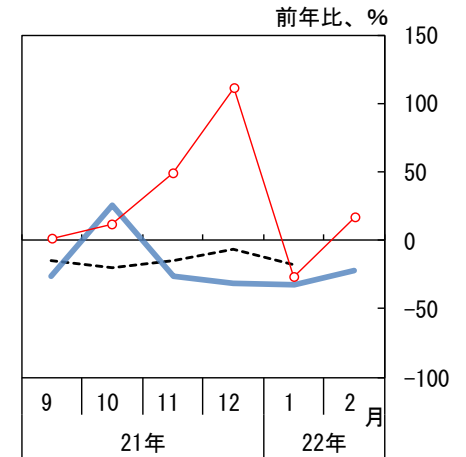
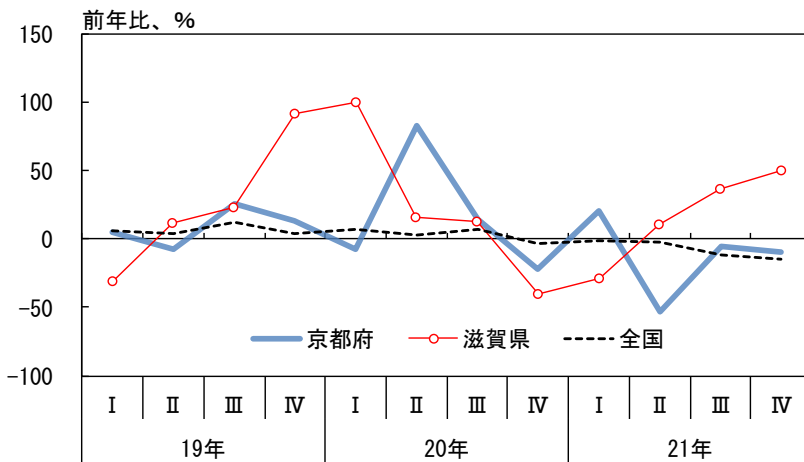
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

(4) 住宅投資
新設住宅着工戸数



(出所) 国土交通省「建築着工統計」

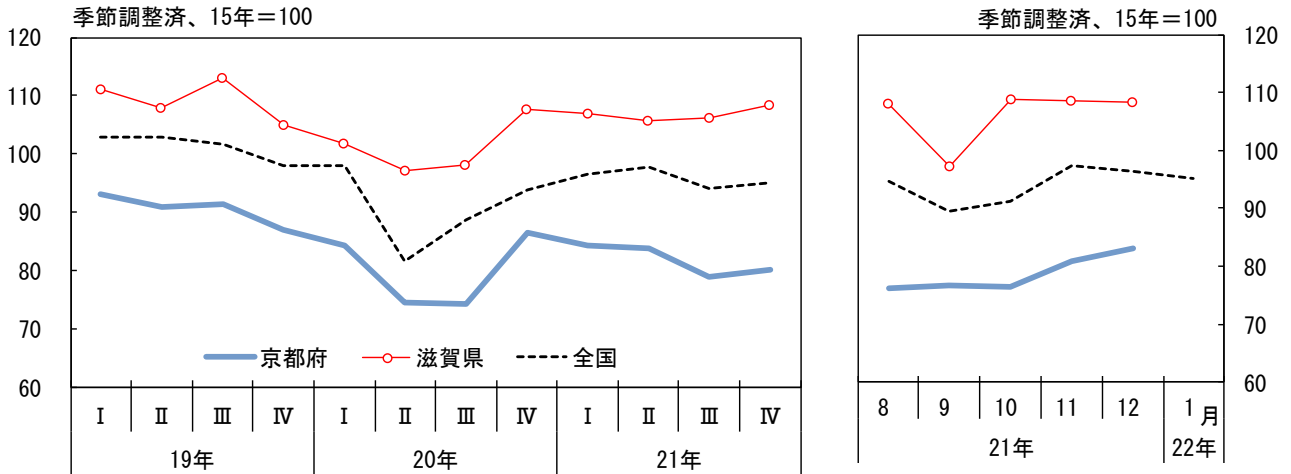
(5) 公共投資
公共工事請負金額



(出所) 西日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

2. 生産

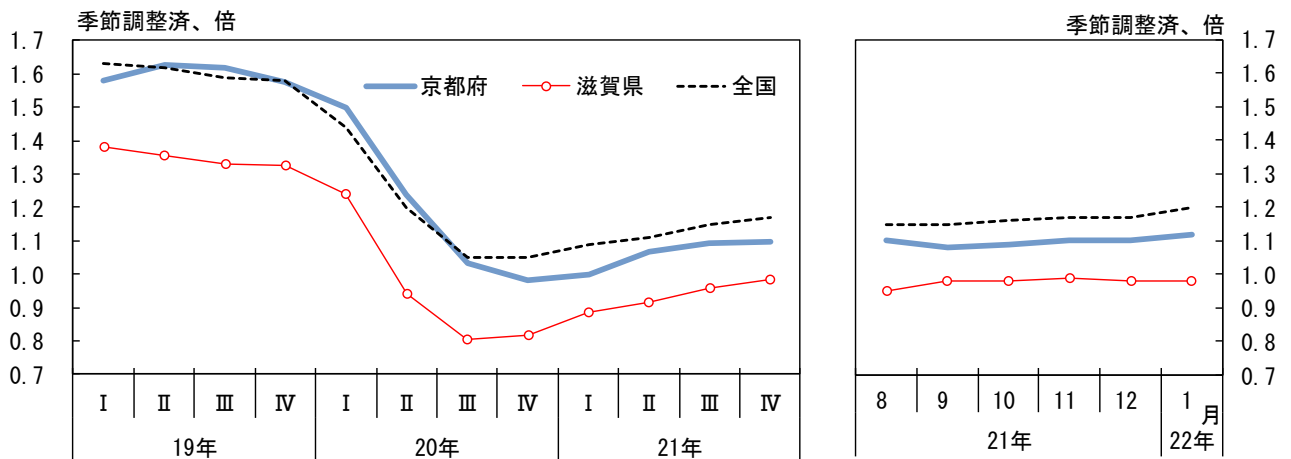
鉱工業生産指数



(出所) 京都府「京都府鉱工業指数」、滋賀県「滋賀県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数統計」

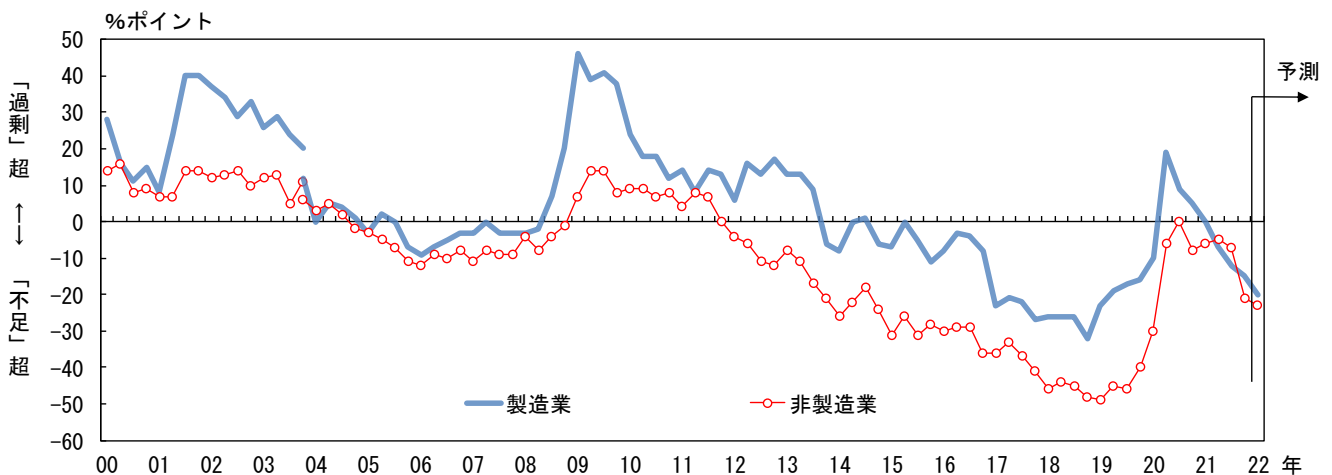
3. 雇用・所得

(1) 有効求人倍率



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」

(2) 雇用人員判断 D. I. (京滋計)

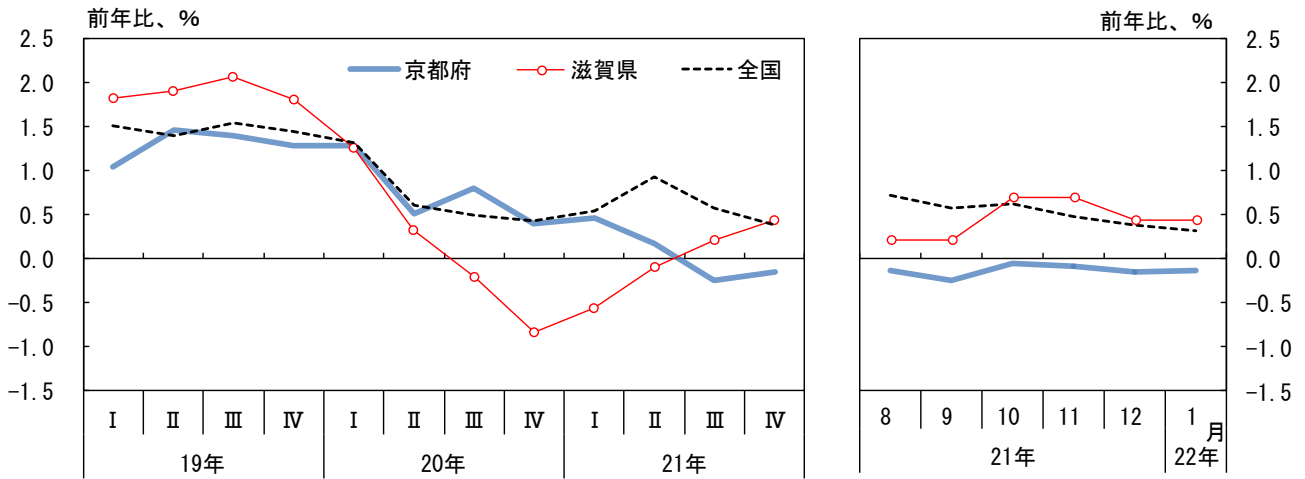


(出所) 日本銀行京都支店「管内企業短期経済観測調査結果」

(注) 直近は2021年12月。予測は2022年3月。

2004年3月調査より調査対象企業等の見直しを行なったことから、2003年12月調査以前と2004年3月調査以降の計数は連続しない(2003年12月調査については、新ベースによる再集計結果を併記)。

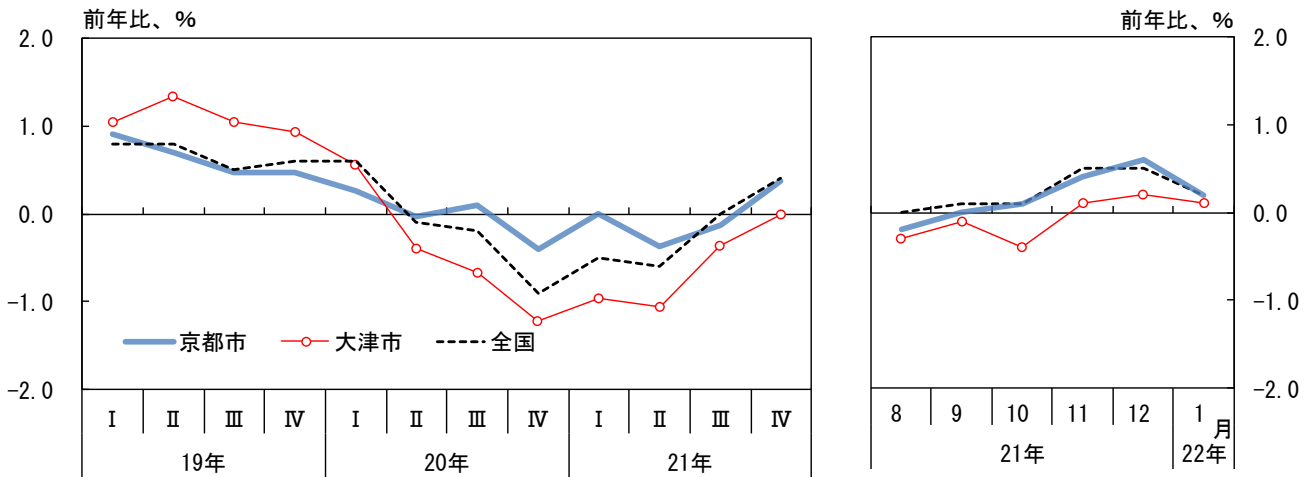
(3) 雇用保険被保険者数



(出所) 厚生労働省「雇用保険事業月報・年報」

4. 物価

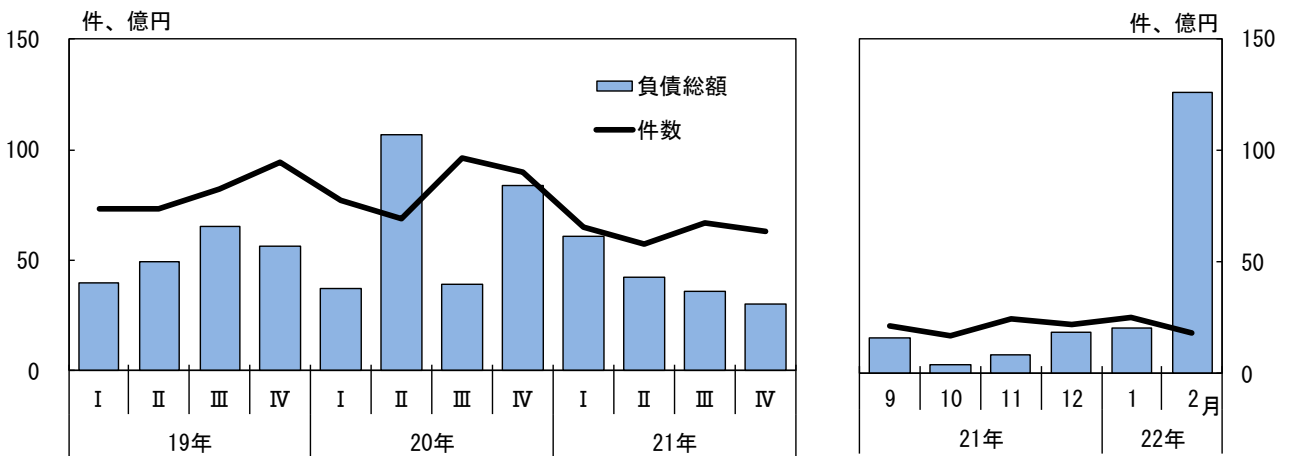
消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)



(出所) 総務省「消費者物価指数」(全国・京都市・大津市)

5. 倒産

企業倒産 (京滋計)



(出所) 東京商工リサーチ「京都市企業倒産状況」、「滋賀県企業倒産状況」

